

情報環境整備計画で目指す教育・学修効果(学修成果のアウトカム)の課題(2024年度)

令和5年7月28日  
公益社団法人 私立大学情報教育協会

目指す教育効果 教育効果達成の課題	1. 遠隔授業システムを用いて、学生の学修機会を確保し、学修内容の理解度向上を図る		2. LMS(学修支援システム)等を用いて、事前・事後学修の学修時間を増加し、知識定着と理解度向上を図る		3. 教員と学生間のコミュニケーションを促進し、主体的な学修の促進を図る		4. 反転授業やeラーニングを普及し、知識・技能の定着を図る		5. アクティブ・ラーニング、PBLなどの学生主体授業を充実し、問題発見・課題探求力の向上を図る		6. 教員と学生、学生同士による双方向型授業を充実し、学修意欲などの向上を図る		7. 地域社会や産業界と連携した授業を充実し、課題解決力と実践力の向上を図る		8. 教え合い・学び合いのグループ学修を充実するとともに、発表・相互評価を通じて主体性・多様性・協働性の向上を図る		9. 分野を横断した学びを実現し、知識の組合せ、発想力・構想力・価値創造力等の向上を図る		10. 海外大学との遠隔授業などを実現し、グローバル化対応力の向上を図る		
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数
① 学内LAN・ICT環境の整備	78	33.9%	58	17.7%	54	20.2%	42	18.3%	44	19.0%	49	22.7%	15	15.3%	41	24.0%	16	15.2%	14	20.6%	
② 遠隔講義、LMS等の支援体制	64	25.9%	63	19.2%	43	16.1%	24	10.4%	20	8.7%	31	14.4%	14	14.3%	20	11.7%	14	13.3%	20	29.4%	
③ LMS活用のFD	24	9.7%	66	20.1%	45	16.9%	23	10.0%	23	10.0%	32	14.8%	8	8.2%	24	14.0%	13	12.4%	8	11.8%	
④ 反転授業・eラーニングのFD	13	5.3%	24	7.3%	22	8.2%	60	26.1%	30	13.0%	19	8.8%	9	9.2%	18	10.5%	8	7.6%	7	10.3%	
⑤ 教員の意識改革と組織的取組み	34	13.8%	64	19.5%	74	27.7%	38	16.5%	61	26.4%	56	25.9%	29	29.6%	41	24.0%	34	32.4%	7	10.3%	
⑥ 教材開発・作成の支援体制	34	13.8%	53	16.2%	29	10.9%	43	18.7%	53	22.9%	29	13.4%	23	23.5%	27	15.8%	20	19.0%	12	17.6%	
合計	247	102.3%	328	100.0%	267	100.0%	230	100.0%	231	100.0%	216	100.0%	98	100.0%	171	100.0%	105	100.0%	68	100.0%	